

平成21年9月9日

(社) 京都府情報産業協会

作成：三上

平成21年度・第5回技術委員会議事録

開催日時 平成21年9月9日(火) 午後5時から午後5時30分
 場所 京都コンピュータ学院新館4階会議室
 議題 1. SE/システム高度化研究会開催状況
 2. 情報化月間協賛、京都情報化セミナーの開催
 3. その他

出席者

委員長	中信コンピューターアンドコミュニケーション(株)	三上 雅弘
副委員長	(株)ユニシス	浦 正久
副委員長	京都情報大学院大学	手塚 正義
(欠席) 委員	(株)京信システムサービス	岡山 哲也
(欠席) 委員	エスピーメディアテック(株)	奥田 光司
委員	(株)エクザム	木下 豊
委員	(株)クリエイトジャパン	篠原美佐子
委員	アステック(株)	鈴木 信雄
委員	エイジシステム(株)	関岡 章次
委員	(株)ウチダソリューションズ京都	武部 裕彦
(欠席) 委員	(株)アントアント	谷脇とし子
(欠席) 委員	京都電子計算(株)	松原 克孝
(欠席) 委員	(株)日立製作所京都支店	米盛 弘明
委員	(株)ウェルアソシエイツ	山田 哲
(欠席) 事業推進委員長	島津エス・ディー(株)	山本 孝
事務局	京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院	和田 壽郎

議 事

1. SE/システム高度化研究会開催状況

(1) 開催状況

テーマ1:「プロジェクトにおけるマスタスケジュール」

第1回	7月8日(水) 18:00~20:30	プロジェクトにおける「マスタスケジュール」の位置づけ …計画の集約であり、実行過程のベースライン:プロマネの命
第2回	8月4日(火) 18:00~20:30	「マスタスケジュール」の事例と標準化 …具備すべき要件、関係者の誰にでも判る標準的なモデルとは?
第3回	8月25日(火) 18:00~20:30	「マスタスケジュール」の作り方と留意事項 …守るべき手順、やってはいけないこと、失敗のノウハウから

参加希望者20名。第1回19名、第2回17名、懇親会15名、第3回13名参加。

ほかに講師2名、世話役3名。4グループに分け演習を中心に進行。

テーマ2:「プロジェクトチェックの考え方」

第1回	9月8日(火) 18:00~20:00	「プロジェクトチェック」の考え方(タイミングと内容) …やっても仕方ない時期、手遅れの時期、適材適所とは?
第2回	10月6日(火) 18:00~20:30	「プロジェクトチェック」の事例と標準モデル …各工程と関連での標準チェックは?全体共通のチェックは?
第3回	10月27日(火) 18:00~20:30	チェック項目サンプルとチェックルール …個別プロジェクトに適用するチェック項目サンプル&ルール例

参加希望者19名(1名転勤で参加不能)。第1回15名、懇親会7名参加。

テーマ3：「要件定義の考え方」

第1回	11月5日(木) 18:00～20:30	「要件定義」の考え方（プロジェクト全体での位置づけ） …現実世界と架空(情報モデル)世界の接点での行き違い？
第2回	11月24日(火) 18:00～20:30	「要件定義」の内容と事例（要件定義への流れ） …経営戦略～事業戦略～IT戦略からIT導入のための「要件定義」
第3回	12月15日(火) 18:00～20:30	「要件定義」の標準モデルと留意事項 …「要件定義」があればシステムが出来る、という前提事項は？

参加希望者19名。

2. 情報化月間協賛、京都情報化セミナーの開催

(1) 開催日時：10月16日（金）15時30分より平安会館にて開催
17時すぎより懇親会

(2) テーマ：京都ユビキタス特区事業に関するもの

(3) 8月6日（木）委員長が京都産業21を訪問、京都産業21園田氏に協力依頼、インテージ春山氏と講演内容について打合せ。京都産業21は、ユビキタス特区事業の管理団体であることから、本セミナーは共催としたいとの園田氏より要望あり。

(4) 9月7日、春山氏よりメールにて講演概要提示

<演題>

「京都ユビキタス特区事業が拓く新しいICTサービス」

<講師>

株式会社インテージ

事業開発本部 京都分室 室長

事業開発プロデューサー

春山 祥一(はるやま しょういち)

<講演概要>

平成20年度からスタートした総務省・ユビキタス特区事業において京都府が指定され、それを機会に「ユビキタス・ミュージアム特区構想」がスタートしました。(財)京都産業21を管理団体として複数企業、研究機関のコンソーシアムで実現したユビキタス特区事業(国際観光)は、2年目を迎えて、並行して初年度の成果を活用したいいくつかの派生プロジェクトが展開しています。

さらに今年度の総務省補正予算『ICT経済・地域活性化基盤確立事業(「ユビキタス特区」事業)』では、「医療機関のデジタル領収書プラットフォーム構築とヘルスケア家計簿との連携による地域住民への付加価値サービスの実現」という京都発のテーマが採択され、伏見区等の京都市南部地域においてICTを活用した地域医療サービスの実証が行われることになりました。

今回は、これらの京都を舞台としたユビキタス特区事業が拓く、新しいICTサービスとその展望について、いずれの事業にも参画して企画プロデュースとデータ収集・分析を担当する株式会社インテージのプロデューサーから各々の事業概要の説明と、これらの事業開発のために京都リサーチパークに分室を設けて腰を据えて取り組むことになったインテージの御紹介もあわせてさせていただければと存じます

(5) 開催の案内文(案)を委員にて審議、承認。

(6) 京都府中小企業技術センター、財団法人産業21への共催、広報協力依頼ののち、9月中旬頃、府民、会員向け案内を発信の予定。

4. その他

(1) 委員会終了後、委員は引き続きSE/システム高度化研究会、懇親会に参加

(2) 次回委員会：10月13日（火）17時、京都コンピュータ学院新館4階会議室

以上